

「森と水と命の惑星」国際会議

～地域と世界の心と魂を詠む～

梅下村塾

56



塾長 梅内 拓生

(歴史はめぐる)

●榮流れ 仮設団地の夏まつり

東海文芸 渚句会
8月句会 兼題「立秋」
雑詠

返句：夕渚 仮設
団地の 夏まつり

雑詠

(石丸 恭子)

(柳本 忠子)

●秋立つや 被災地遠
き 新天地

●黙禱の 中に入り来
て 蝉の声

●添へ乳して 共に夢
見る 昼寝かな

●家中に 秋の初風
廻りけり

返句：●新天地 共
に夢見る 新天地

返句：●黙禱にす
われし蝉と 秋の風

(斉藤 陽子)

東日本大震災から早

●逆縁の 御霊迎へや
盆提灯

や1年7カ月、時は流
れ、季節は回ってきま
す。今、歴史をひもと
くと大震災と天津波の
記述が古書に刻まれて
おります。

●売り家札 下げる庭
先 立葵

10月7日の第1面に
は「気仙諸々志 アテ
ルイと田村麻呂② 金
野静一 盛岡市在住」

返句：●売家札 御
霊迎える 庭の先

3・11の大震災への
被災地の人々の忍耐力
と規律ある行動には、

(古水 タマ子)

世界の人々が感動をし
ました。しかし、その
後の復興への取り組み
の遅い事に、世界はい
ろいろな疑問を投げか
けております。平成24
年5月12日に気仙沼
市、13日に大船渡市で
開催した「森と水と命
の惑星」国際会議の宣
言は、東京都青梅市の
西多摩地方の地域文化
教育活動と手をつなぎ
ました。

●立秋の 波おだやか
に 夕渚

来年の3月には四国
の土佐地方の地域文化
教育活動との連携の準
備が始まりました。
「森と水と命の惑星」
国際会議く地域と世界
の心と魂を詠むくと日
本政府が支援した持続
可能な発展への教育
(Education for Sustain
able Development/ES
D)の一環としての東
北ESDプロジェクト
との連携も予定されて
おります。

気仙地方の自然と歴
史が生み出した知恵と
心が世界に羽ばたくこ
とを期待しておりま
す。